

7月麻績村教育委員会定例会議 会議録

令和元年 7 月 1 日(月)

午後 1 時 30 分～

麻績村地域交流センター 第 3 研修室

出席委員 職務代理 市川祥介 委員 塚原明水
委員 坂野かほり 委員 小山正文
出席職員 麻績小学校長 福田弘彦 麻績保育園長 白井孝夫
教育長 飯森 力 次長 白井太津男 主事 佐藤克哉
傍聴者 1 名

一 開会(白井教育次長)

定刻になりましたので、これから令和元年 7 月の麻績村教育委員会定例会を始めます。よろしくお願いいたします。始めに、教育長よりあいさつをいただきます。

二 教育長挨拶(飯森教育長)

あらためましてこんにちは。そろそろ梅雨もと思いますが、そんな時に気温の変化も強くて大変かなと思います。学校におきましてエアコンが整備されましたので、冷房というよりは除湿、ドライの関係をうまく使っていただく中で、子どもたちが快適に学習できればとそういう風に考えております。時期に夏休みが近くなってきています。先生方には働き方改革の事もあろうかと思いますが、休み中の子どもたちの活動や生活については是非ともより良いご指導を頂ければありがたいと思いますのでよろしくお願いいたします。村の教育委員会としましては学校教育だけではなくて、いろいろな面の部分が出てきております。社会教育、社会体育、そしてそれが生涯教育という風に繋がっていくわけですが、この 7 月につきましては先ほど梅雨もそろそろなんていう話ですが、台風等の結構荒れる時期でございます。災害等の発生に関しましても注意していかなくてはならない、また地震も来る可能性が大きいということが言われております。教育委員会の方でも地域の皆さん、子どもたちが安全でいられるよう耐震の出来ていない公民館、分館等の改修も進めていきたいということで今年度につきましては市野川公民館を始めていきたいと、次に上井掘の方へ行きたいと思います。まだ耐震の終わっていないところは坊平公民館、野田沢公民館というような形で残っております。そこら辺も出来るだけ早く耐震が出来るように進めていきたいと考えております。子どもたちが避難しても知っている地区の部分が一番いいだろうなということも感じております。こんなことも踏まえながら進めていきたいと思っておりますので皆さん方のご理解をよろしくお願いいたします。本日につきましては終わった後に 50 周年の関係の事も打ち合わせしたいと思っておりますのでスムーズな運営にご理解を頂きたいと思っております。よろしくお願いいたします。

三 報告(進行 白井教育次長)

臼井次長: それでは、報告に移ります。教育長報告をお願いします。

1. 教育長報告

教育長: お願いいたします(以下、資料に沿って説明)

臼井次長: 只今の教育長報告についてご意見等ございましたらお願いします。

塚原委員: 8月6日と27日の県教育委員会中信地区懇談会は委員も出席ですか。

教育長: 教育長の出席だけですので、委員の皆様は大丈夫です。

臼井次長: その他にございますか。よろしいでしょうか。それでは、保育園長報告をお願いします。

2. 学校長・保育園長報告

1) 保育園長報告(臼井園長先生)

臼井園長: よろしくをお願いします。(以下資料に沿って説明)

臼井次長: 保育園長報告につきまして、ご意見等ございましたらお願いします。

坂野委員: 6月の活動で2村3園の交流がありました。ととてもありがたいものだと思います。この時の関わり方というのは先生方考えてくださっていると思いますが、他の保育園の子たちとどんな様な関わり方をして、また次に繋げていくということを考えていますでしょうか。

臼井園長: この交流ですけれど3園ということで、坂井保育園が非常に人数が少なく6人の参加でありましたけれども、いつもと違う顔ぶれでございますので当番の保育園がひまわり保育園ということで坂北の保育園ですが、そこに集合して挨拶をした後あの広場まで歩いて行きました。少し遠いんですが、役場の上の方からずっと歩いて高速の横まで行くんですが、その時に他の園の子たちと手をつないで話が弾むようにして一緒に歩いてやっております。目的に着きましたら注意事項だけしまして、あとは自由に使わせるということで使っていておりますけれども、やはり帽子の色でも分かりますが、いろいろ入り混じって遊んでいる場合もありますし、人見知りするのか他の園の子たちと混ざれないという子もいましたが、そういうところは先生も入ったりしまして、なるべくいろんな人と混ざるようにと指導しているようです。お昼の時には必然的に同じ園の子たちが集まる訳ですが、その中でも他の所に行ってお昼を食べてる子もいました。だいぶ話が弾んでいたようでした。なるべく他の園の子と話をしたり、混ざったりということを考えて今指導しているところです。

坂野委員: こういう形は1年に何回あるんですか。

臼井園長: 1年に1回になります。

坂野委員: それではまた来年ですか。

臼井園長: 来年は坂井で、去年は麻績でした。

坂野委員: 何歳からですか。

臼井園長: 年長だけです。

坂野委員: そうすると後はまた小学校に行ってからということですね。

臼井園長:そうですね。

臼井次長:その他にございますか。

塚原委員:3点ほど感想という形お話しします。野外保育というものが新聞等では言われていて注目を浴びているようですが、麻績保育園でも野外保育の基本的なところを踏まえて導入している部分もあると思います。散歩や村の中を歩いたりということをやっていると思います。それはありがたいと思いますが、ぜひその中で散歩をしながら、多分これは食べられる、食べられないということも教えていただいていると思いますが、僕らの子どもの頃は庭のスグリ、グミ、桑の実とか何でも口に入れた時代なんだけど、今の子ども達はそういうものを口に入れない時代なんですよ。散歩をしながら野外保育の中から、これは食べられる、これは食べちゃいけない、僕も不思議に思うんだけど蛇イチゴというのは絶対に食べないんですよ。美味しそうにいっぱい転がっているんだけど。そういうのを大人の保母さんたちから教えてもらいたい。若いお父さんお母さんはこういうことに無関心だと思うので。2点目は保育園は小さな施設なので完璧主義というか潔癖主義に陥り過ぎないようにしてほしいと思います。手を洗いなさい、うがいをしなさい、いけませんいけませんと禁止事項ばかりでなくて、多少砂がついてた、埃がついてたであまり責めないでほしいと思います。何でこんなことを思うかという、今の若いお父さんお母さんたちも人を見たら不審者と思えという教育が強くなりつつある時代のように感じます。だからそうではないんだよ、ということ信じながらも人を信じていきたいと思うので、あまり潔癖主義で育ててしまったら困るかな、子どもも生きづらくなるんじゃないかなと思います。最近人見知りをする子どもがすごく多いと思います。人と触れあえない、人を見ると気持ち悪いという話をあちこちで聞くので感じました。3点目はスマホ教育についてですが、今のお母さんお父さんはスマホやITの最先端を行っている人たちで、保母さんたちはガラケーで育てた人たちなので、ちょうど接点が保育園かなと思うので、これから保育園、小学校、中、高とスマホに対する対応を我々も勉強していけないと思います。高校ではOKになった学校もあるようで、そういう学校があるので中学生も何割かは持ってきていると思います。僕らの子どもはテレビが入ってきて一億総白痴なんて言われた時代と似ていて、今スマホが入ってきてうちの嫁さんなんかはスマホを見ながら料理を作っているんですよ。うちの家内に聞くよりもスマホの言うことを聞いているんですよ。それが今の若いママパパの現代の姿かなと思います。保小中高でスマホに対してどうあるべきか、どう指導していくべきかということを通じた理解をして導いていかないと、これに騙されちゃう子どもに育てたくないという感想です。

臼井次長:その他にございますか。

市川職務代理:関連してになりますが、保育園のおかげで育っているなというのが季節感なんです。昔は小学校も七夕祭りをやったりとそれぞれの季節に応じた教育課程が組まれていたんですが、だんだん学習指導要領の内容が濃くなって強制力が強くなってきたのか、全国一律の学習内容が強くなり教科書も一本化されてきてしまっているの、地域にあった七夕で笹飾りをして、歌を歌ってとかってという学習が小学校ほとんど少なくなっているかと思います。それが保育園等で補われていて、私どもの季節感の原風景は大事にこれからも育てていっていただきたい。季節感というのはただ民俗的な行事だけでは無

くて自然とのふれあいです。この時期の草木から始まって風の香りですとかそういったものの全部含めて季節感でありますので、それを直接体験させていただいているということで非常にありがたいことで、それだけ先生方のご苦勞も多いと思いますから十分お気を付けになって進めて頂ければありがたいと思います。2つ目は塚原委員とは少し食い違いますが、昔はこうだったから食わせて見ればいいじゃないかと、私も散々学校の行き帰りに食べたり、いたずらっ子はどこにうまいのがあると皆知っていましたが、今は除草剤を使いますし色々な田んぼやその他でも農薬を使いますから、我々の頃のようにこれは食べられるよ食べてごらんと、あっさりはいかないということは保育園の先生方も気を付けていらっしゃると思いますから、潔癖主義ではないが子どもの健康については責任を持っているわけですから、変なもの食べて体を壊すということだけは気を付けていった方がいいかなと思います。2点目です。7月26日に小学校の先生方が研修参加に来てくださるとか、先日は音楽会に来ていただいて非常に良い姿勢で聞いて頂いたんですが、保育園と小学校の関連が非常に仲良く、順調に進められていてありがたいと思うんですが小学校の先生方が保育園のある時間に保育園に研修に行くにはかなり自習体制を組まないと行きにくいのではないかなということをおもいます。とても良いことなんですが、中学校は時間割を交換すれば空き時間が取れるんです。ただ小学校は時間割を交換してこの時間を空けてという訳にはいかないと思いますし、子どもを早く帰してというのはそう簡単には出来ないと思いますので、とても良いことだけども無理のないような計画を立てて頂ければありがたいと思います。

福田校長: 26日の研修については夏休みに入っていますので、日常の中ではその時間は難しいと思いますが、来入児の担当や私や教頭先生は保育園の子どもさんの様子を見させていただく機会が割とありますが、担任を持っておられる方々はこういう機会でないという感じがあって、なるべく上手に子どもたちの生活と、研修の部分を手を上手にやっていきたいと思っています。

市川職務代理: とてもいいことですが、どうやって時間を見出すかという点が私もいつも悩んできた点なので言わせていただきました。

小山委員: 今の小学校の先生の研修ですが何名ぐらい参加する予定ですか。

福田校長: ほぼ皆でお世話になるつもりです。それぞれ研修が入る時期ですので都合がつかない者もおりますが、貴重な機会ですので研修させていただくように思っております。

小山委員: 校長先生もお見え頂いている保小中一貫手がかりとなっていますので、そういう面でのいろいろ保小の連携の方もよろしくお願ひしたいと思います。もう一点塚原先生もおっしゃられましたスマホの件なんですけど、もちろん今スマホだとかタブレットは若い人方々やお年寄りもそうですが、やっぱり弊害というのも当然、目とかイヤホンで耳のことを言われたりしておりますので、子どもたちはすぐは響かないのかもしれませんが、何らかの形で注意喚起していただけたらと思います。

教 育 長: 塚原先生が大変良いことを言ってくれたと思いますが、今はあまりにも環境が違いすぎて、そこらの雑草を見ても思いますけど私たちが子どもの頃は道端のものを何でも拾って食べるということもありましたが、その頃は車とかはほとんど通らないので何とも無いんですけど今は草ひとつ見ても、山の中の草と道路端の草とでは色も全然違うし排気ガスで真

っ黒なんですよ。すごいことでこれを食べちゃうと大変な事ですのでやるなら例えば保育園で菜園しているところにこういう物を植えるとか、除草剤とかいろいろ掛からないような状況を作りながら、そういうものは食べれるよと山菜ではないですけど世の中ではいっぱいやっていますので、そういう部分も勉強の一つとして取り入れることはいいんじゃないかなと思います。非常にこれからの時代は大切なことだと思います。食べるものが無くなっても生きていかれるという部分がありますので非常に大切なことだと思います。ただ世の中の空気の環境が良くないので、洗って食べても大変だと思いますのでその辺りも注意しながらやる必要があります。スマホの部分については小山委員が言った通りだと思います。自分のことを言っただけではいけないんですが、自分のうちの子も多分ですけどゲーム依存症みたいな形になっていくことが非常に大きい、むしろスマホの使い方等そういう部分は親にしっかり指導しないとただ単純に考えても大変なことになってしまうと考えているところです。今の若い人たちは授業参観に来て使っている人いますけども、何をやっているかゲームの可能性もあるし、何とも言えないけど使い方については子どもたちも知っていかなくてはならない。そのためにプログラミングの授業も入ってくるという部分もありますので、そこら辺も注意しながらやっていかなければいけないなと思います。ただこれは親の関係の方が私は必要だと感じています。この調査も保育園の中で4人ぐらいが情報通信機器を使っています。塚原さんとても良いこと言っていただきましたので、そこら辺のことをどういう風にしていくかということも考えながらと思います。ありがとうございます。

臼井次長:その他にございますか。

市川職務代理:今の教育長さんの話を聞いて伺いますが、社会教育委員会や公民館の会があるようですが、そういう所で地域の方々に対する現職教育と申しますか、特にスマホなんかの問題は話題にはならないのでしょうか。

教 育 長:話題にはなって、去年スマホ教室を開いていただいて2回ドコモとauを呼んでお願いしています。そしてそこら辺の勉強をしてもらうように村民に声をかけてやっていたんですが、若者は自分で結構できちゃうのでなかなかそこには入ってこないで、そこら辺は課題で話題には上ります。

市川職務代理:出来れば全部学校教育絡みでやっちゃうと、教育委員会事務局もそうですけど学校側に大変な負担になりますので、当然負担となっていくことではしょうけども親の教育というような点は教育委員会が存在感を発揮して、こうあればいいとかの提案だけではなく実際に動いていただいてやっていただくように要望いたします。

臼井次長:その他にございますか。それでは、学校長報告をお願いします。

(傍聴者退出)

2)学校長報告(福田校長先生)

福田校長:お願いいたします(資料に沿って説明)。

臼井次長:学校長報告につきまして、ご意見等ございましたらお願いします。

塚原委員: 音楽会大変ありがとうございました。校長先生が裏方さんを支えてくださっているという表現をしてくださっていることが、先生方にとってもいい結果を生んでくれているのではないかと、校長先生のお人柄かなと思います。運動不足のことで麻績小学校の一輪車は他の学校にない独特のものであるし、独特のユニークな力を子どもに授けていると思います。だけでも一輪車検定というものが無く、どこかの大会に出ていく窓口もありません。たまたまテレビなどで一輪車大会だとか素晴らしい物がやっているの、子ども達に見せることが出来たら見せてあげて「こういう技があるんだ」とか「こんいう発表方法があるんだ」ということを、多分あの中には勉強は出来ないけど一輪車は結構得意という子もいると思うので、自信につながるように一輪車で旧が上がったというと縄跳びで級をとったり、ギネスに挑戦したりとあるように麻績小学校は一輪車にもう少しスポットライトをあてて子どもを伸ばせる部分かなと思います。

小山委員: 音楽会本当に素晴らしかったと思います。校長先生もおっしゃられたように中島先生が音楽の専科で、中島先生だけじゃなくて皆さんよくリードされてそれぞれ担任の先生もおやりになって本当によかったと思います。2年生なんかも少人数で、去年は保育園から来たばかりでちょっと物足りなさもありましたけども、この1年で非常に成長したなどと思います。本当に先生全員の方々の努力の結晶だと思います。また今後ともよろしくお願いたします。

市川職務代理: 関連して私も音楽会非常に感動しました。ありがとうございました。校長先生のお話で出された意見の通りだと思います。一点、50周年記念音楽会と銘打っていただいて非常にいいことだと思います。校長先生のお話の中に、あるいは選択された曲目の中にその気持ちが滲み出ていましたけども、もう少し大胆にステージ装飾に50周年記念と、あるいはアナウンスの中でももう少し大胆に入れて頂いてもいいんじゃないかなという感想を持ちました。割合遠慮されているのは先生方の中に50周年といっても50周年らしいことはしないのにあまり大騒ぎしてもというご遠慮があったと思われま。だけれどついこの間までは平成最後という言葉が使われていて、未だに令和の初めてと使っているのですから今年1年間はとにかく50周年ということですので、今日だって50周年の7月定例会ということですから、あまり遠慮して使っていって皆さんが50年だなという意識が村の中に広がっていけばなお良いのではないかと感想を持ちました。

坂野委員: 音楽会の感想ですが、毎年胸が熱くなるような感動できる音楽会をありがとうございます。校長先生がさっき明水先生がおっしゃったように裏方の先生たちもこのような温かい目で見てくださっているおかげで、先生たちも本当に子どもたちにも本気になる雰囲気を作ってくださっているんだなと思います。校長先生がここに書いて下さっているように子どもたちと先生方の本気というのは確かに観客の人には伝わっていたと思います。中には泣いているお母さんもいらっちゃって、先ほどよく校長先生がおっしゃったお家でも支えていたという部分かなと思いますが、私は保護者席でお友達のお母さんと見させていただきましたが自分の子の時もそうですけど、全体の最後のふるさとの時もハンカチで涙を拭いていました。なので音楽会という位置づけが学校だけでなく家庭の家族とかも巻き込んで村全体を一つにしているような、地域の方も含めてを一つにしているような感じがしています。中島先生が本当にいろんなアイデアを出してくださって、それがお母

さん達にもちゃんと伝わってしまして金管バンドもそうですし、音楽会もこんなに盛り上げてくださって本当に音楽を好きな子に育ててくれているなという感想をこの間一緒にしました。これで中学の吹奏楽部に入れるといいね、待ってるよというお母さんもいて、これで小学校、中学校繋がっていくのかなと思いました。

臼井次長:その他にいかがでしょうか。

塚原委員:7月の行事予定の最後の方で30日の日にプール解放がありますが、麻績の学び舎からくりやしきというものが10時から4時まであるんです。子どもが結局どちらへ行こうか迷ったりプールに来なくなっちゃったりするので、学校の方でからくり屋敷の日は子どもがいっぱい来てもらいたいと思っているだろうから、プールに時間をずらすとか次の日に持っていくとか、年々子どもたちのプールの時間が授業時数が短くなっていて夏休みのプールを楽しみにしている子が結構多いです。ところが実際に指導に来てみると時間で区切っちゃって昔は唇が青くなるほどプールに入っていたんだけど、今の子どもたちは短くてかわいそうな気がするんですよね。もしからくり屋敷に子どもを行かせたかったらプールの時間をずらすとか工夫してもらわないと、村の行事もそうだけど子どもたちを集めたかったらどこかが我慢し合うという作戦を考えて貰えればありがたいと思います。

福田校長:図書館の係の方でもそこを考えていて、バスもこの日お願いして教育委員会さんの方で出して頂けるのでからくり屋敷を堪能してプールにと日課的には出来ているかと思いません。

教 育 長:これはどっち取るという訳にはいかないけど後から入ってくる部分がしっかり検討しなきゃいけない部分だと考えますのでよろしくをお願いします。私の方から、GOGO歩こうデーの他に子どもたち歩いて登校する部分があると思いますが、先日ある地区懇談会の中で子どもたちの安全を考えるにはもう少し考えても良くないかと言われたことが一点あるのでお繋ぎしたいと思います。大体子どもたちが歩くのが7時から7時半頃という時に道路わきで消毒をしている人がいて、これが子どもたちに掛かって有害と言えれば有害だろうけど今消毒しているのはリンゴの消毒なんですけど、この7月のところでは結構強い消毒を撒くんです。非常に大変かなということがあってJAの方でも指導をしてくれるようですが、風のない時間帯にやりたいものですからどうしても5時、6時、7時のところに入ってきちゃうんです。子どもに対しての注意が必要かなと思うものですからぜひよろしくお願いします。他にも野菜の消毒なんかも大々的にやる人はいませんのでいいんですけど、リンゴの消毒はそうなんですけど添着剤というものを入れますので、車のガラスやなんかもくっつくとなかなか落ちないんですけど、そういう状況があって子どもたちがいい方厳しく言うと危険にさらされている部分があるということです。ただどういう風に注意したらいいか、いつ消毒するかもわからないのですが発言した人はGOGO歩こうデーの時に通ってみたらちょうど消毒していて、これは大変だということと言われたものですから、校長先生の方で消毒している時は遠回りの道でもいいかということを考えてほしいと思います。天王から来る子どもたちが歩いてきて体育館を過ぎると両方にリンゴ畑がありますけど、あそこが結構消毒をするので消毒の間を抜けて来ないといけないのでそういう場合には叶里に下りて旧道を歩いてくるだけでも全然違うと思います。見ながらじゃないと何とも言えないんですけど心配なところがあります。本人にしてみたらその時間じゃなきゃ消毒できない、風のない

時間に、この時期にやらないとダメだとなると両方の生活を脅かすようになるものですから、強制はできないものですから両方の注意することが大切かなという風に思いますので頭に留めておいてお願いしたいと思います他には考えてみるとあまり無いけど、上井堀の方に少しあるぐらいで話は聞かないと思っています。

福田校長: ハンカチとかマスクで覆ったぐらいでは、もしもという時に持っていなさいとかその程度ではなかなか厳しいですか。

教育長: 消毒をやっている人は全身覆ってゴーグルまでしてやっているぐらいですから、それを肌を露出してマスクだけで対応ではちょっと難しいとは思います。今一番結構強い消毒を撒く時期だと思いますので。

小山委員: 結構消毒の回数もありますし、強い消毒だと思います。

教育長: 子どもたちが水来て冷たいといっていると消毒だったりするので心配です。坂野さん子ども通っているときはそんな気はしませんでしたか。

坂野委員: 犬の散歩をしているときに感じました。水が飛んできて冷たいと思ったら消毒を撒いていて結構やっているなと思いました。

教育長: かぶれとか出たらすぐ分かるんですがそこまでじゃないので、ずっと浴びているわけでもないし学校帰りなら家に帰ってすぐにシャワーを浴びればいけれども学校に行く時なので心配です。これが地区懇談会で出た学校や子どもの安全に関する部分で頂きましたのでお繋ぎしたいと思います。

市川職務代理: 今教育長さんおっしゃられたように、本校には通学路が無いのでその場に応じて判断して変えていくという教育はとても大事だと思います。こうなっているからこれで通していかないといけないということではなくて、消毒をしていたら6年生辺りが先に立って別の道で行かないかという教育もしていただけたらかなり違うかなと思います。

教育長: 一応小学校の方に通学路の申請だけはしてありますので、そこから外れて人がいなくなったら大変なことになりますので、そこだけ気を付けていきたいと思います

坂野委員: 以前に明治町の方だったと思いますが、通学路では無いところを歩いて怪我をした時に保険が下りなくて、それは決まったところを通らないからいけないということと言われたということなんです。

教育長: それは今私が言ったことなんです、学校の方へは通学路でどこを通るか申請をしております。それから外れると大変なのでこういう部分については注意書きなりしっかりして通知をしておけば問題ないので、自分勝手にやったやつはダメです。

市川職務代理: 通学路というものはきちんとしていないけども、自分はこの道を通って学校に行きますという提出書類が保険の審査の対象になるということです。今の話のようにその場で臨機応変に判断できるということも人間として大事だから、その場合の保険の方の対応を場合によっては検討していただけたらありがたいと思います。

教育長: それは申請が来るときに学校長か教育委員会でもいいんですが、この時にはここを通るということをしつかり明記しておけばいいと思います。ただ子どもが自分の自由にあちこち歩いたら騒ぎなので、さっきの塚原先生ではないですが昔の子どもはどこ通っても関係なく飛んで入っていました。

市川職務代理: それはいい考えですね。2つか4つに絞ってということですね。

教 育 長: ちゃんとした書類をそろえておくことが大切かと思えます。

塚原委員: 小山さんに質問なんですけど、昔はリンゴの消毒って10回から20回やりましたが今は回数減っているんですか。

小山委員: 減っていないと思います。

塚原委員:

教 育 長:

小山委員: 思い起こしてみれば昔桑の実とかもリンゴの消毒がかかったりしてそれをそのまま食べて中毒というほどじゃないけど具合が悪くなるということがありました。大騒ぎになるほどではなかったですが、消毒かかったのも時間が経てばいいんですがあれだけ虫を殺すわけですから害が無いわけじゃないですから、原液を飲まなければ命に関わることは無いと思いますが。

教 育 長: 風向きによっては本当に冷たいと感じるほどかかりますので、リンゴの葉っぱも消毒した後乾けば真っ白になりますので、そういうこと考えればそれを被っているということなので相当気をつけなくてはいけないと思います。

臼井次長: その他によろしいでしょうか。それでは、次に移ります。

(傍聴者入室)

四 協議(進行 飯森教育長)

1) 各委員から

教 育 長: それでは、委員の皆さんから何かございましたらお願いします。

市川職務代理: 委員からというより個人的にも関わりがありましたのであったものですからご報告です。29日に皆さんもご承知の通り第1回麻績村と歩く会というものが開かれまして、単なる歴史遺産だけではなくて麻績村の民族に関わる色んな学習が出来まして有意義だったなと思います。次長さんも含めて34人ほどご出席いただきまして村外からもかなり大勢の方にお見え頂いてありがたかったんですが、前は宮司さんにも来ていただいてめったに見せてもらえないようなお宝を見せてもらえたりしました。次回は矢倉を中心として7月20日を予定して住職さんがお見え頂いていろいろしていただけるということもありますので、一応お含みだけ頂いてもしよろしかったら公民館も共催していますので加わっていただければありがたいと思います。宮下健司先生は子供向けをかなり心に持っていますので、機会があれば子どもたちにも働きかけて頂ければありがたいと思います。今回は宮下先生の都合で決めてしまうのでおみっこと重なってしまって教育委員会事務局にはご迷惑をおかけしましたが両方上手く住み分けて頂いてやっていただきました。またよろしく願いいたします。

教 育 長: 麻績村の歴史とか文化を伝承するために非常に大切なことだと思います。よろしく願いいたします。その他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、次に進みます。

2) 事務局から

臼井次長: 県教委への要望についてお願いいたします。(資料に沿って説明)。

教 育 長: ということ出来るだけ支援の関係もしっかり体制を整えていきたいということで申請をしていきたいということでございます。校長先生におかれましては、また色々な場面でそういうことが出来るかもしれませんがぜひご助言を頂いて出来るだけ早くできればと思いますのでよろしくお願いいたします。なお、三村にも声をかける中で何とかしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

塚原委員: これは組合立でも申請になっていますか。

教 育 長: 組合立の方でも申請しています。

市川職務代理: 中の文章で、「現在の通級教室で行われている指導により、課題が解消に向かっている傾向が多くみられます。」とこれは非常に大事だと思いますし、まさにこれだからこそ必要ですよね。合わせて全く同じ文章を2度使っているんですが、くど過ぎませんか。

臼井次長: 中で次の文章を入れたこともありましたので訂正したいと思います。失礼いたしました。

教 育 長: 全体の中でその他のその他になりますが、校長先生今年小学校の臨時講師の中で教員採用試験を受ける方はいますか。

福田校長: 小山先生が受ける予定です。

教 育 長: では、出来るだけ時間を与えてぜひ合格するような部分でご手配を頂ければと思います。本人の努力次第だとは思いますがぜひそういう時間を作っていただければと思います。よろしくお願いいたします。それでは、次回の日程に進みます。

次回の定例教育委員会の日程 9月2日(月) 午前10:00～

教 育 長: 前回も少しお話しましたが、教科書採択の関係でまた出てくると思います。7月の末から8月の始めに臨時で開きたいと思います。今回小学校は道徳を除く全科となりますのでちょっとお時間が必要になるかなと思いますが簡潔にまとめておいてお願いをしたいと思います、よろしくお願いいたします。それでは、閉会に移ります。

五 閉会(臼井教育次長)

長時間にわたりありがとうございました。只今をもちまして7月の定例麻績村教育委員会を閉会いたします。

※網掛けになっている部分は個人情報になりますので一般公開する時には伏せて公開いたしません。

上記会議録に署名する

教育長

職務代理

委員

委員

委員

会議録調整者